

第7期周南市障害福祉計画・第3期周南市障害児福祉計画の策定にかかるパブリック・コメントの意見及び市の考え方

No.	頁	項目	原文または要旨	市の考え方
1	1 ～ 2	第1章 「策定にあたって」	<p>「他計画との関係図」は、P1の「計画の位置付けと性格」のうち市行政内の案件の関係を示したものと思われま</p> <p>す。</p> <p>「計画の位置付けと性格」に記載ある他「計画」「指針」も列記した方が適切と考えます。</p> <p>当「計画(素案)」は県行政の各種「計画」「指針」等との関係はないのでしょうか。</p> <p>御確認の上、関係ある「計画」「指針」等あるならば追記願います。</p> <p>「達成状況の点検と評価」の記述ありますが、「計画の推進と変更」についての記述が見当たらない気がします。</p> <p>「推進」は地域自立支援協議会が対応、「変更」は、3年という期間から考えていない、ということでしょうか。「推進」「変更」について明示すべきと考えます。</p>	<p>・第1章-2の「指針」は、国が示す基本指針であり、これに基づいて、各自治体において「市町村障害福祉計画」「市町村障害児福祉計画」を策定することとなっており、本計画がこれに当たります。一方で、第1章-2の図は、他法に基づき周南市が策定する各種計画と、本計画との関係を示す図表になります。ご意見を踏まえ、図表タイトルを「周南市が策定する他計画との関係図」に修正します。</p> <p>・県行政の各種「計画」「指針」との関係については、山口県が策定する「山口県障害福祉サービス実施計画」において、各自治体が策定した障害福祉計画・障害児福祉計画の数値を積み上げ算出する項目がありますが、県独自で分析・計上する項目もあり、市町村計画とは独立した計画になります。第1章は、あくまでも本計画の位置づけと性格についてまとめたものであるため、県の実施計画については割愛することとし、原案どおりとします。</p> <p>・「計画の推進」は、自立支援協議会の点検・評価を踏まえ、計画的な施策の推進を図ることとしており、「必要に応じて計画の見直し」を行うこととしています。ご意見を踏まえ、第1章-2(3)にその旨を追記しました。</p>

No.	頁	項目	原文または要旨	市の考え方
2	3	第1章 「策定にあたって」	3ページ《周南市地域自立支援協議会*の組織図》 ⑩相談支援会議の枠の下に「個別の支援会議」を書き加え、相談支援会議の枠に向かって↑を引く。自立支援協議会は「個別の支援会議」の相談からスタートします。周南市という大きな枠で考える自立支援協議会ですが、スタートは「個別の支援会から浮かび上がってくる地域ニーズ」です。最近、組織図の中から、「個別の支援会議」から落ちています。だれのためになんのために地域の在り方を検討していることを考えると、組織図には、「個別の支援会議」を記載する必要があると考えられます。	・ご指摘を踏まえ、第1章3ページの図表に「個別の支援会議」を記載し、組織図を整えました。
3	4 ～ 15	第2章 「周南市の障害者・障害児の現状」	「第2章 周南市の障害者・障害児の現状」の記述となっております。 表・グラフと文章説明となっておりますが、文章表記が「令和2(2020)年度と比較すると」又は「令和5(2023)年4月1日現在で」、その後に表・グラフで示されている数値を文章にしているだけ、に見えます。 「行政が問題視/重要視している数値」について、「必要な場合は別途図示追加」の上で文章説明されます様宜しく御願ひ致します。	・第2章の表・グラフと文章説明は、第5章以降の障害福祉サービス等の実績や見込量と比較するための統計資料として掲載しています。あくまでも統計的な資料であり、障害福祉サービス等の実績や見込量との比較でご確認いただくものとなりますので、原案どおりとします。

No.	頁	項目	原文または要旨	市の考え方
4	16 ～ 20	<p style="text-align: center;">第3章</p> <p>「第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の基本的な考え方」</p>	<p>「第3章 第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の基本的な考え方」として、 「1 第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の基本的な考え方」「(2)」に「周南市を実施主体の基本とし、山口県と連携しながら、周南圏域(周南市、下松市、光市)を単位として」との記述ありますが、当該内容は、(2)に限らず市行政の各種計画の「基本的な考え方」ではないか、本来ならば「第1章 策定にあたって」の中で明示されるべき内容では、と考えます。(2)にのみこのような表記をする理由がわかりません。 記述の再検討 ・第1章への記述 ・第3章冒頭への記述により全体に当てはまる様にする。 ・(2)にのみ表記するのならばその理由が分かる様な記述にする を御検討御願います。 「(7) 障害者の社会参加を支える取組」に、「障害者の就労」の記述が全く無いのはなぜでしょうか。「障害者の就労」の記述追加、追加しないならば当計画(素案)で「障害者の就労」について取り扱わない理由の記述追加が必須と考えます。</p>	<p>・第1章「(5) 関係部局及び関係機関等との連携」に、「山口県とも連携し、周南圏域(周南市、下松市、光市)を単位とすることも視野に入れて、」を追記しました。 ・第3章「(7) 障害者の社会参加を支える取組」に「山口県労働局と連携をして、地域の障害者雇用促進を図るための取組を進め、」を追記しました。</p>
5	21	<p style="text-align: center;">第4章-1</p> <p>「福祉施設入所者の地域生活への移行」</p>	<p>「第4章 令和8(2026)年度の成果目標と達成のための取組」 「1 福祉施設入所者の地域生活への移行」で「国の考え方」の数値と「山口県では、この考え方を基本に、実現可能な目標設定をするよう」との考え方に対して、当市の「成果目標 2.32%」は目標値として低すぎると感じます。又、当該目標値設定に至った経緯も見当たりません。目標値の上乗せ、あるいは当該目標値設定の具体的理由を「計画(素案)」に明示願います。(でなければ「計画(素案)」が適正かどうか判断できません。)</p>	<p>・第4-1の成果目標である2.32%は、周南市において実現可能な目標数値として設定したものです。国が示す数値とは乖離がありますが、福祉施設に入所している方のなかには、重度の障害により「地域移行」が困難な状態像の方もおられます。このことから、各事業所へのアンケート結果やサービス提供事業所の動向、日常的な相談支援におけるニーズ等を勘案し、本市における実現可能な目標数値を設定したものといたしますので、原案どおりとします。</p>

No.	頁	項目	原文または要旨	市の考え方
6	23	第4章-4 「福祉施設から一般就労への移行等」	<p><障害者就労施設等からの物品・役務等の調達>で、 <「物品」「役務」毎に前年度の実績を上回る調達額を目標とする>とされておりますが、「わずかでも実績を上回れば良い」ととらえられるこのような目標設定は行政目標として不適切と感じます。過去数年、感染症の影響を排除する必要あるなら過去10年程度の推移を確認し、その推移を上回る規模の調達を目標とされますよう宜しく御願い致します。</p>	<p>・障害者計画(第5期)において、前期計画(第4期)における新型コロナウイルス感染症の影響前の年度実績も勘案したうえで、目標設定をしていることから、原案どおりといたします。</p>
7	23	第4章-5 「障害児支援の提供体制の整備等」	<p><5 障害児支援の提供体制の整備等>で、「必要な施設」は市内に開設されている、との記述と認識しております。但し、「施設が適切に運営されているか」は別の問題です。「施設の適切な運営」を数値的成果目標とするのは困難と思いますが、何らかの形で追記を御検討宜しく御願い致します。</p>	<p>・ご意見のとおり、「施設の適切な運営」を数値的成果目標とするのは困難でありますので、原案どおりとします。</p>
8	26 ～ 38	第5章 「障害福祉サービス等の見込量と今後の方策」	<p>「第5章 障害福祉サービス*等の見込量と今後の方策」 内容が専門的、実情数値が表のみの記載、で、限られた期間で一般市民が内容を確認・判断・意見提示するのは困難と感じました。行政として問題・重要と考える数値・数値の推移はわかりやすく図示を追加の上、各施策については専門家・関係者に再確認を実施の上で計画を決定、計画実施期間中も随時専門家・関係者からの意見を受け入れての施策実施を宜しく御願い致します。</p>	<p>—</p>

No.	頁	項目	原文または要旨	市の考え方
9	31	第5章-1-(3) 「居住系サービス」	7. 今回の障害者福祉計画31ページを視ると、共同生活援助(グループホーム)のR5(2023)の見込み量は91となっている。91人ということでしょうか。 これに対し、周南市内のグループホームは4施設で収容人員52人、近々1施設ができる予定で収容人員6人増えるようですが、 $91 - 52 = 39$ $39 \div 91 \times 100 \approx 42.9\%$ が正しいなら、グループホームにお住まいの方の4割は他市で暮らされているのでしょうか。 周南市内にグループホームは、たくさん必要であると考えますが、社会福祉法人等へのグループホームの誘致など市のお考えをお聞かせ下さい。	・具体的な方法については、社会福祉法人等とも協議を行うこととなりますので現時点でお示しすることは困難ですが、障害者計画(第5期)第4章-2-(1)「住宅の確保」において、「日中活動の場を提供する事業所やグループホームの整備を促進します。」と記載しています。
10	39 ~ 45	第6章 「地域生活支援事業の見込量と事業への取組」	「第6章 地域生活支援事業*の見込量と事業への取組」 内容が専門的、実情数値が表のみの記載、で、限られた期間で一般市民が内容を確認・判断・意見提示するのは困難と感じました。行政として問題・重要と考える数値・数値の推移はわかりやすく図示を追加の上、各施策については専門家・関係者に再確認を実施の上で計画を決定、計画実施期間中も随時専門家・関係者からの意見を受け入れての施策実施を宜しく御願ひ致します。	—

No.	頁	項目	原文または要旨	市の考え方
11		全般(「計画(素案)」内容に関して)	<p>全般(「計画(素案)」内容に関して) 当「計画(素案)」、「第7期」・「第3期」となっておりますので、前回計画(「計画(素案)」)と同等の期間であれば2020年度～2023年度が存在しているはずですが、にもかかわらず、当「計画(素案)」に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回計画実行の際の問題点 ・前回計画の(成果目標等の)結果 <p>(前回計画最終年度が2023年度の場合はまだ計画期間中のため途中経過)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回計画からの変更点 ・前回計画最終年度が2023年度の場合は、結果がまとまるのは2024年度以降となるため、その結果をどう当「計画(素案)」に反映させるのか <p>の記述が見当たりません。 前回計画の結果・分析あってこそそのそれ以降の計画、と考えます。 前述内容の記述追加を求めます。 当「計画(素案)」に「前回計画の結果・分析」に関する記述(の他前述各種内容記述)追加の上で再度意見募集すべきと感じます。 「計画(素案)」への記述追加・再度意見募集が不可の場合、その理由は当該パブリックコメント/意見募集の回答としてだけでなく、「計画」に明示願います。 今回の「計画(素案)」に「前回計画の結果・分析」に関する記述追加されないならば、施策実施の際に前回計画の結果を反映されます様宜しく御願致します。 当該案件、対象者が全市民ではない事から、どの様に市民全体に広報を行うのが重要、と思うのですが、「計画(素案)」文面を「広報」で検索したところ殆ど記述がありませんでした。 [[広報]検索結果] P17「また、地域の障害福祉に係る仕事への就職希望者が増えるよう、高校や大学等と協力して周知・広報等に取り組みます。」 P39「また、市の広報紙において、障害者福祉についての理解と啓発を目的とした記事を掲載します。」 (後は、表中と巻末「資料 語句の説明(五十音順)」 市広報紙に限らず、あらゆる手段を用いて、当該施策について随時全市民・各種団体(特に企業)への広報を行う旨「計画(素案)」に明示の上、実行して行く様宜しく御願致します。</p>	<p>・この障害福祉計画は、障害福祉サービスにかかる成果目標の設定、サービスの必要量を見込んでその提供体制を確保するための計画となります。前計画の総括としては掲載していませんが、それぞれの障害福祉サービスにおいて、前計画期間の実績値を基に分析をし、今後の見込量を示したうえで、今後の方策を定めています。よって、原案どおりとします。</p> <p>・第6章「1理解促進・研修啓発事業」に、「市の広報紙への記事掲載をはじめ、様々な機会を通じて、障害者福祉についての理解促進と啓発を目的とした事業を展開していきます。」を追記します。</p>

No.	頁	項目	原文または要旨	市の考え方
12		全般(「計画(素案)」内容以外)	<p>全般(「計画(素案)」内容以外) 「計画(素案)」内年号記述が一部元号のみの箇所があり、年代把握が困難となっております。年代表記を全て西暦表記(最低でも西暦元号併記)に御変更宜しく御願ひ致します。当該変更不可の場合その具体的理由をパブリックコメント回答の他「計画(素案)」に御明示宜しく御願ひ致します。</p> <p>図表には、通し番号を設定願ひします。 図表には、(データの)出典を明示願ひします。 パブリック・コメント/意見募集の際は、図表への通し番号の設定 ・出典の明示を必須とされます様御願ひ致します。 目次に「*を付した語句には巻末にその説明を掲げています。」と付記した上での、巻末の「資料 語句の説明(五十音順)」は有難いです。説明掲載語句の再精査を宜しく御願ひ致します。 パブリック・コメント/意見募集の際は、今回の様な「語句の説明」の掲載を必須とされます様御願ひ致します。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、元号と西暦を併記する形に改めました。</p> <p>・本計画で使用している図表は、本市の業務システムから抽出した統計データに基づき、市障害者支援課で作成しました。他の文献や、調査機関等が作成した図表・データは引用しておりませんので、出典表示は付記せず、原案どおりとします。</p>